

脳神経内科における研修の目標, 方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

神経疾患の方の病態, 診療での基本的な留意点などを理解する。
神経所見を的確にとり, それにより病態を正確に理解し, 適切な対応, 処置を行なう。

2 脳神経内科研修の特徴

当院では, 脳血管障害の急性期を中心に, 頭痛, めまい, てんかん, 意識障害などを診療する機会が多いが, パーキンソン病や, 脊髄小脳変性症などの神経変性疾患も充分経験はできる。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

研修中は主に, 入院患者や救急患者についての診療を行なう。
指導医と一緒に診療し, 検査・治療の具体的スケジュールや手技を学ぶ。

4 検査

神経所見のとり方, CTやMRI画像の読み方などは, より重点をおいて学ぶ。
また, できるだけ多くの腰椎穿刺を経験する。

5 カンファランス

研修期間中は, 可能な限り学会や検討会に参加し, また地方会などでの発表に努める。